

日本レディースバドミントン連盟だより



Vol. 24

J.L.B.F.

会長挨拶

会長 民谷 千寿子



この度、天野博江会長のご退任により日本レディースバドミントン連盟第8代会長に就任することとなりました。微力ではございますが天野前会長をお手本として、職名に恥じないよう連盟事業に真摯に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。天野会長には名誉会長として今後も連盟をお見守りいただき、大所高所からご指導いただければ幸甚に存じます。

令和5年度、本連盟創立40周年記念事業の一環である記念誌の編集に携わらせていただいた折、膨大な各種資料を目の当たりにして改めて歴代役員の皆様のご努力と連盟運営に掛ける熱い思いを強く感じることとなり、本連盟の歴史の厚みと次世代への記録の継承を担うことへの責任の重さを痛感いたしました。折しも会長という重責を担うにあたり更にその思いを強くし、身の引き締まる思いをいたしております。

本連盟の状況を鑑みますと、コロナ禍以降3年が経過し通常の活動ができるようにはなりましたが、登録会員数は引き続き減少傾向が続いている状況です。会員の高齢化によるバドミントン離れに加え、積年の課題である若年層会員の確保定着が思うように進んでいないことにも

一因があるかと思しますので、加盟各連盟におかれましても引き続き会員確保増大への注力をお願いいたします。併せて、本連盟会員登録数と（公財）日本バドミントン協会会員登録数が同一となるようご配慮いただくことが、些少なりとも日本代表選手への支援に繋がるものと思ひますので、日バ登録促進にもご尽力くださるよう併せてお願いしたいと思ひます。生涯スポーツと競技スポーツ双方の推進を目標とする本連盟としては「いつまでもいくつになっても」バドミントンが楽しめる機会を提供することも含め、事業の精査見直しを図り一人でも多くの方にご加盟いただけるよう、役員一同一致協力して目標に向かって邁進しなくてはなりません。連盟事業の見直しには執行役員だけではなく、会員各位のご意見も反映されることが必須であると考えます。地区代表役員が管内各連盟の意見を取り纏めて会議に臨み、出席者全員で活発な意見交換をすることが事業発展への糸口となり、自らの連盟という意識が醸成され協力体制の構築にも繋がるものと思ひます。変化する時代のニーズに沿った事業展開と組織運営に努めることが重要ですが、役員並びに会員の皆様方のご理解とお力添えが得られなければ先に進むことはできませんので、是非ともご協力の程お願い申し上げます。

本連盟は、平成29年度から女性のみで構成する役員組織となり8年が経過いたしました。女性の組織として社会的地位を確立させるためにも会員個々が積極的に社会と関わり、知識と見聞を広めることが今後更に必要ではないかと思われ

ます。変化する社会情勢の中で職を持ち、家庭を守り、ジュニア育成にも携わりながらバドミントンを楽しむことができるよう、そして、自身を磨き成長させることができるような組織でありたいとの思いを深くして、今般の職に臨みたいと思ひます。

また、近年は日本各地で大地震や豪雨による自然災害が頻発し、甚大な被害に見舞われた地域は継続的な支援を必要としています。本連盟でも被災地の一日も早い復興を願い、微力ながら支援活動が続けることに登録会員の皆様方からご賛同いただければ大変有難く存じます。

最後になりましたが、本連盟に対する関係各方面の皆様のご厚情に深謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

新年度役員

名誉会長	天野 博江
会長	民谷 千寿子
副会長	廣瀬 園子
監事	三富 久子
	大関 萬里子
理事長	小国 久美
副理事長	香山 百合子
	山口 美法
	竹田 由美子

右記 役員選考委員会にて推挙され、令和7年4月総会において掲載される。

第42回全日本レディースバドミントン選手権大会(団体戦)

新潟県レディースバドミントン連盟

理事長 鈴木 康子

会 期
場 日

令和6年7月25日～28日
長岡市東総合スポーツセンター
長岡市市民体育館



標記大会を令和6年7月25日(木)28日(日)の4日間にわたり、都道府県対抗は新潟市の東総合スポーツセンターで、クラブ対抗は長岡市の長岡市市民体育館の2会場にて開催いたしました。

都道府県対抗39チーム、クラブ対抗48チーム。総勢約1,000名という多くの選手と応援の皆様をお迎えすることができた事は大変うれしく思います。しかし、2会場が60kmと離れており、すぐに他会場に応援に行くことができないため、関係者皆様には大変ご不便をおかけしたことを思っております。

また、新潟県でのレディースの全国大会開催は初めてのことで、前々年度の北海道大会、前年度の長崎大会を視察させていただき、大変勉強になりましたが、一方で、このような大会を開催できるのか不安と心配でいっぱいになりました。大会運営で忙しい中にも関わらず、ご指導くださいました北海道、長崎の役員の皆様本当にありがとうございました。視察後、「北信越レディースバドミントン大会」を全国大会のプレ大会として

位置づけて開催しました。しかし、試合運営、審判・役員配置等々なかなかうまくいかず、役員の方々から厳しいご意見をいただくこととなり、全国大会を甘く考えていたと猛省させられました。

今大会中は、とにかく「選手ファースト」で皆さんに気持ちよく帰っていただくことを念頭に置き、運営等に携わってまいりました。気が回らない点多々あったかと思いますが、選手、役員等皆様のお力をお借りして何とか最終日まで走り抜けることができました。全日程を通して選手の白熱するプレー、たくさんの応援、それを支える役員の方々、誰一人欠けても成り立たない、本当に素晴らしい感動する大会となりました。

このような機会を与えていただいたことに感謝し、この貴重な経験を活かし、県レディース連盟の課題である組織の充実等を目指し、今後頑張っていきたいと思っております。

なお、本大会開催にあたり、公益財団法人日本バドミントン協会、特別協賛のヨネックス株式会社様はじめ各メーカーの皆様、日本レディースバドミントン連盟役員の皆様には大変お世話になりました。お礼申し上げます。

最後になりましたが、次回開催県である和歌山大会の成功と本大会が今後益々ご発展されます事を祈念いたしまして、新潟大会のご報告とさせていただきます。



熊本県応援団

応援団(ぶきっちよ倶楽部)
北海道大会を目標になかなか勝てず！志垣コーチのもと週3回の練習のうち週2回は都道府県チームとの練習など同じコートで見えていました。
初めての北海道大会は舞い上がり、長崎大会では落ち着かず、お疲れさまでした。でもまだまだバドミントンで人生を楽しんでできると思います。みんなで楽しく頑張りますよ。
クラブ対抗応援団、都道府県選手一同、みんなでできるし頑張るばい！



試合風景



福岡代表

クラブ対抗



★優勝★ ぶきっちょ倶楽部（熊本県）

このメンバーで優勝をめざして三年目、やっと念願を叶える事が出来ました。選手達は悔しさをバネに練習し、精神面も成長したいと思います。良く頑張りました。



★準優勝★ 逗子なぎさ（神奈川県）

リーグ戦の初戦で負けを喫し、不安な幕開けでしたが、逗子なぎさらしい粘り強さとあきらめない気持ちで決勝まで進み、準優勝という結果を残す事が出来ました。これからもチーム一丸となって頑張ります。



★3位★ PEACE（岡山県）

主力の数人が直前に体調不良で、6人ギリギリで戦う事になったので、まさかの三位にびっくりです。新潟の役員の方々がいいつも笑顔と拍手で試合に送り出して下さったのが、とても嬉しかったです。色々なお心遣い感謝です。



★3位★ あいCLUB（大阪府）

悔しい！！の一言です。前回のリベンジをする事が出来ませんでした。再びこの場に立てる事を目標に、しっかり練習していきます。2年後の大会を楽しみにしています。ありがとうございました。

都道府県対抗



★優勝★ 福岡県代表

今年も、厳しい山を一つづつ登っていきました。イケイケのフリー、安定の40代、手堅い50代のお陰で頂上まで上がる事が出来ました。ご家族のご協力・大きな声援に感謝でいっぱいです。日レ・新潟県の大会運営の皆様、ありがとうございました。



★準優勝★ 東京都代表

念願のベスト4を目指して、7年間頑張ってきた所、選手一人一人の努力とチームワークで決勝まで進む事が出来ました。大満足の結果です。とても明るいチームで、終わってしまうのが名残惜しい程です。来年も頑張ります。役員・新潟県の皆様ありがとうございました。



★3位★ 愛知県代表

若手がママとなって戻り、復活「愛知」が出来ました。熱戦の連続でしたが、選手・応援団ありがとう！！汗と涙の三日間に感謝です。



★3位★ 京都府代表

京都勢として初めての三位に入賞しました。選手・スタッフ全員の力で勝ち取れたものです。これまでご支援ご協力いただいた多くの方に感謝致します。大会の準備・開催頂いた役員の皆様にお礼申し上げます。

YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2024

(30th Anniversary Celebration)

Date : Wednesday Oct.23 - Sunday Oct.27 OSAKA, JAPAN

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2024

創設30回記念大会を終えて



1995年にスタートしたこの大会は30回の節目を迎えました。海外を含め2000名に及ぶ選手をお迎えし、記念大会として盛大に開催できたことは参加選手の皆様と関係団体並びに協賛企業の皆様のおかげと感謝の念に堪えません。

この大会は当時の理事長故村井広美が、「世界にレディースバドミントンの輪を広げたい」という思いのもと創設しました。海外の大会で学んだノウハウを基礎として、長年に亘る地道な誘致活動で仲間を増やして参りました。昨年台北モーニングカップに参加した折にスリランカチームとの出会いがあり、今大会の参加につながりました。韓国高陽市の大会で出会ったモンゴルチームは今秋の参加が期待されます。

また昨今のSNS普及により世界の愛好者に広まりレディースの大会として定着するようになりました。創設者の熱い思いは30年を経ても受け継がれ、これからも更なる発展を目指して参ります。

今大会を振り返りますと、Aゾーンに中国よりパリ五輪銀メダリストのヘ・ビンジャオ選手の参加があり、日本や韓

国の実業団選手との対戦では力強いプレーで私達を魅了してくれました。また75歳以上で編成するKゾーンには90歳選手2名の参加があり、コートに立つ凛々しい姿から生涯スポーツの実践を実感させていただきました。

競技場と同じく賑わっていたのがエントランスです。2005年より続けているピンクリボン活動に合わせ、記念大会を祝うピンクのバルーンアートで選手の皆様をお迎えしました。冠協賛であるヨネックス株式会社による展示ブース、ショップによる出店、3年目となるキッチンカー、連盟員による抽選会とカフェ、2025大阪万博マスコットのミyakミyakも来館し会場を盛り上げてくれました。被災地支援の石川物産展と募金は今後も継続し日本レディース連盟を通じて石川県に復興への思いを届けます。

今年度の大会は11月5日～9日Asueアリーナ大阪（大阪市中心体育館）での開催となります。参加選手の皆様により楽しんでいただける大会を目指し準備を進めております。

関係各位の皆様方には30年の感謝をお伝えするとともに、引き続きのご支援とご指導を心よりお願いし、2024大会の終了報告とさせていただきます。



優勝カップ返還



レセプション



集合写真



YONEX JAPAN

大阪府レディースバドミントン連盟

理事長 竹田 由美子



Eゾーン優勝 Chinese Taipei B (TPE)



Aゾーン優勝 YONEX (JPN)



Fゾーン優勝 HAPPY LADIES (HKG)



Aゾーン準優勝 YONEX MULAN (CHN)



Gゾーン優勝 ジョイント (福岡県)



Aゾーン第3位 CHALLENGE KOREA (KOR)



Hゾーン優勝 オールド (大阪府)



Bゾーン優勝 YONEX MULAN II (CHN)



Jゾーン優勝 TSUNAGU (千葉県)



Cゾーン優勝 CHOCOBAE KOREA (KOR)



Kゾーン優勝 ミラクルパワーB (埼玉県)



Dゾーン優勝 レインボーA (神奈川県)

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2024



監督 香山 百合子

今年のレディースジャパンは新潟から西村麻優、松山祐実組、福井から中川莉奈、川田結華組、福岡から名切美羽、高口美沙組で結成しました。

予選リーグを2位で通過し決勝トーナメントに進みました。

YAMATO 奈良に1ゲーム奪うなど健闘しました。今年のレディースジャパンも笑顔が素敵な女性達でチームワークも良くコート内で楽しくプレーしている姿が印象的でした。

今後の活躍も期待しています。



名切・高口ペア



試合風景

Ladies Japan コメント 選手代表 西村麻優

いつもとは違う緊張感で、強い選手たちと試合ができてとても良い経験となりました。

身体が追いついていない部分があったので、この経験を学びに変えて練習に励んでいきたいと思います。

また、チームみんなで団結して試合に臨むことができたので、とても楽しかったです！

このような大変貴重な機会をくださり、本当にありがとうございました！



中川・川田ペア



西村・松山ペア



バルーンアーチ



集合写真



フードトラック

国際親善レディースバドミントン大会 海外誘致活動

2024年3月26日(火)～4月1日(月)まで台北体育館にて「2024年52届世界清晨盃」が開催されました。総参加者数4,753名(内、外国人選手1,448名、計22か国)のバドミントン愛好者が集まり男女単・複・混合以外にも夫婦や親子、孫と祖父母ダブルスの楽しいファミリー種目もありました。大阪府レディースバドミントン連盟より3ペアが出場。全種目でメダルを獲得し、あわせて各国の選手に国際親善大会要項を配布し活発に誘致活動を行いました。

台北モーニングカップ2024



2024高陽コネックス 国際チャレンジバドミントン大会

2024年9月7日(土)～9月8日(日)まで韓国高陽特別市体育館にて行われた標記大会に大阪府レディースバドミントン連盟より11名が参加致しました。1,800名の選手(内、外国人選手304名、計11か国)が年齢別・ランク別の男女複・混合で競い合いました。多くの参加選手から「10月にOSAKAに行く」とお声がけをいただきました。またモンゴルから参加の選手と交流し、国際親善2025大会への初参加誘致を図ることができました。開会式にて高陽市長より大阪府レディースバドミントン連盟 土肥昌代副会長に「永年の交流促進への献身的尽力」に対し感謝状授与のサプライズがありました。



第19回 全日本レディースバドミントン競技大会



三重県レディースバドミントン連盟

理事長 齋藤 ゆか

はじめに、大会が無事に終了することができました事を皆様方に心よりお礼申し上げます。

令和6年12月20日(金)から22日(日)までの3日間にわたり四日市市総合体育館、四日市市中央第2体育館、津市産業・スポーツセンター サオリーナの3会場において43都道府県から1168名の選手の皆様をお迎えし、大会を開催いたしました。

この大会開催のお話を戴いた時、オープン大会も開催したことがない三重県には無理、しかも会員数が二百余名で皆様にご満足していただける大会を運営できるだろうか?と悩みました。でも体育館は、三重国体のために新築や改装された体育館がいくつかありましたので、

もうやるしかない!と覚悟を決め役員の了解を得て、三重県バドミントン協会に開催の旨を報告いたしました。

まず体育館の確保と資金集めから始めました。我が連盟に資金が足りないことは確実でしたので、三重県と四日市市へ補助金の相談、申請をお願いいたしました。又、山梨県と東京都の2回の大会視察をさせていただき、効率の良い大会運営、素晴らしい審判、私たちにとりま

では非常に参考になりました。

その後、私達は大会運営の勉強と審判技能の向上を図る取り組みのために株式会社アテックスホールディングス様のご協力のもと『三重オープンレディース大会』を開催いたしました。この大会の反省をもとに何回も議論を重ね三重県レディースの1人1人が自覚を持ち大会にいたどみました。勿論、三重県レディースのみの力では到底開催することはできません。

三重県バドミントン協会、社会人連盟、実業団連盟、小学生連盟、県内高校のバドミントン部員の皆様に支えられ三重県の底力をお見せできた大会になったと思います。

又、開催に際しまして、ご協力頂きました、公益財団法人日本バドミントン協会様、特別協賛のミズノ株式会社をはじめ協賛各社、ご支援いただきました関係各位の皆様には大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

最後になりましたが、大会開催にあたり、準備段階から終了後まで温かいご指導ご支援を下さった日本レディースバドミントン連盟の役員の皆様に感謝を申し上げます。

そして、全国から参加してくださった選手の皆様のパワーと優しさに感動をいただきました。皆様 本場にありがとうございます。

1 部 入 賞 者



優 勝：河野優利愛・大久保陽菜（福井）

本大会を開催して頂き、ありがとうございます。厳しい試合を勝ち抜く事が出来とても嬉しいです。最高です♡♡♡

準優勝：池田 真帆・大川 弘美（滋賀）

3 位：有尾 明香・水野 会理（岐阜）



試合風景

2 部Aブロック 入賞者



優 勝：田中琴裕幸・河村 美咲（山口）

準優勝：石井 祐葵・高橋 綾子（岡山）

3 位：砂原 由美・砂原真由霞（北海道）



試合風景

会 期
場 日

令和6年12月20日～22日
四日市市総合体育館 四日市市中央第2体育館、
津市産業・スポーツセンター サオリーナ

2 部 入 賞 者



Bブロック

優勝：北條ともみ・荒井佳代子（神奈川）
準優勝：相馬 孝子・村田 千明（新潟）
3 位：市村 幸子・村田 恵（福井）



Cブロック

優勝：田野加奈子・齋藤 尚子（栃木）
準優勝：笠井 恵理・遊佐 真弓（愛知）
3 位：常井 理佐・濱上 由紀（大阪）



Dブロック

優勝：岡田 順子・栗栖 真弓（大阪）
準優勝：菱谷 順子・渡邊 冬子（福井）
3 位：高木 圭子・葛西 深雪（岐阜）



Eブロック

優勝：若林 美衣・石川こづえ（千葉）
準優勝：三宅 恵美・張 銀淑（千葉）
3 位：石川 雅美・樋口美恵子（長野）



Fブロック

優勝：久高美由紀・佐藤 恭子（千葉）
準優勝：川西 直美・島田三貴子（香川）
3 位：島崎 朋子・深見 妙子（東京）



Gブロック

優勝：岡田 忍・慶秀 清子（福井）
準優勝：長野 久美・松元 恵（鹿児島）
3 位：竹田由美子・磯山 浩美（大阪）



Hブロック

優勝：堂山貴美子・入沢 智美（福岡）
準優勝：高垣 尚美・大東恵里子（兵庫）
3 位：山本 晴世・小林 朋子（静岡）



Jブロック

優勝：工藤なおみ・宮崎美香子（東京）
準優勝：小原 真澄・佐藤 忍（宮城）
3 位：沼田 晴代・松本 美和（大阪）



Kブロック

優勝：新田 豊子・竹林佐代子（香川）
準優勝：後藤 恵・赤澤 五月（岡山）
3 位：水野 良子・門間由美子（愛知）



Lブロック

優勝：田代千知子・竹田かすみ（神奈川/山梨）
準優勝：片山 美紀・武智 孝子（神奈川）
3 位：大野富美子・横倉 民子（東京）



Mブロック

優勝：土庵 清子・石井 伸子（奈良/山口）
準優勝：浅越 治子・室田 光枝（埼玉）
3 位：米口 順子・宮本 容子（東京）



Nブロック

優勝：東条フミ子・中村 聡子（香川/高知）
準優勝：立本 洋子・川島 宮子（埼玉）
3 位：竹村 明子・山本しず子（神奈川/愛知）

日本レディース連盟大会日程表

第43回 全日本レディースバドミントン選手権大会 (都道府県対抗・クラブ対抗)		第20回 全日本レディースバドミントン競技大会 (個人戦)	
期 日	令和7年 7月24日(木)～27日(日)	期 日	令和7年 12月12日(金)～14日(日)
会 場	和歌山ビッグホエール・和歌山ビッグウエーブ	会 場	維新百年記念公園 維新大晃アリーナ やまぐちリフレッシュパーク ソルトアリーナ防府
監督会議	7月24日(木) 15:30～	代表者会議	12月12日(金) 16:00～
開 会 式	7月24日(木) 16:30～	開 会 式	12月12日(金) 17:00～
競 技	7月25日(金) 9:00～ 7月26日(土) 9:00～ 7月27日(日) 9:00～	競 技	12月13日(土) 9:00～ 12月14日(日) 9:00～
閉 会 式	7月27日(日) 競技終了後	閉 会 式	12月14日(日) 競技終了後

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2025			
期 日	令和7年 11月5日(水)～9日(日)	競 技	11月6日(木) 9:20～ 11月7日(金) 9:20～ 11月8日(土) 9:20～ 11月9日(日) 9:20～
会 場	Asueアリーナ大阪・ Asueアリーナ大阪 地下2階	閉 会 式	11月9日(日) 競技終了後
代表者会議	11月5日(水) 16:30～		
開 会 式	11月5日(水) 17:10～		

オープン大会日程表

開催日	大会名	開催地	会 場
6月1日(日)	第21回 福井県レディースオープンバドミントン大会(個人戦)	福井県	敦賀市総合運動公園体育館
6月1日(日)	第22回 ふじやまオープンレディースバドミントン大会(個人戦)	静岡県	富士宮市民体育館
6月4日(水)	第23回 北海道よさこいそ〜らんオープンバドミントン大会(個人戦)	北海道	北海道総合体育センター(サブアリーナ)
6月4日(水)・5日(木)	第32回 福島オープンレディースバドミントン大会(個人戦)	福島県	猪苗代町総合体育館(カメリーナ)
6月12日(木)～14日(土)	第52回 京都オープンレディースバドミントン大会(団体戦)	京都府	島津アリーナ京都
6月30日(月)・7月1日(火)	第20回 兵庫オープンレディースバドミントン大会すみれオープン(団体戦)	兵庫県	神戸市立中央体育館
9月20日(土)	第37回 輝レディースオープン大会(団体戦)	山口県	維新大晃アリーナ
9月23日(火祝)	第9回 わかバドオープン(個人戦)	和歌山県	和歌山市立河南総合体育館
9月26日(金)・27日(土)	第38回 奈良オープンレディースバドミントン大会(団体戦)	奈良県	ロートアリーナ奈良
9月28日(日)	第18回 やまびこレディースオープンバドミントン大会(個人戦)	長野県	ユメックスアリーナ塩尻市総合体育館
10月4日(土)	第3回 甲斐路オープン大会(個人戦)	山梨県	小瀬スポーツ公園体育館
10月4日(土)	第40回 広島レディースオープンバドミントン大会(団体戦)	広島県	中区スポーツセンター
10月11日(土)・12日(日)	第10回 清流の国ぎふレディースバドミントンオープン大会(団体戦)	岐阜県	山県市総合体育館
10月14日(火)・15日(水)	第22回 大江戸オープン大会(個人戦)	東京都	武蔵野の森総合スポーツプラザ
10月22日(水)・23日(木)	第35回 茨城県レディースバドミントン連盟ひばりの会(団体戦)	茨城県	ひたちなか市総合運動公園体育館
11月3日(月祝)	第16回 よさこいレディースオープンバドミントン大会(団体戦)	高知県	くろしおアリーナ
11月16日(日)	第20回 湯けむりレディースバドミントンオープン大会(団体戦)	大分県	別府市総合体育館(べっぴんアリーナ)
令和8年			
1月14日(水)～16日(金) 21日(水)～23日(金)	第17回 愛知オープンレディースバドミントン大会(団体戦)	愛知県	パロマ瑞穂アリーナ
2月20日(金)	第52回 長崎県レディースバドミントンオープン大会(団体戦)	長崎県	長崎県立総合体育館
2月21日(土)	第5回 OGU cup 京都府レディースバドミントン年齢別オープン大会2025(個人戦)	京都府	向日市民体育館
2月21日(土)・22日(日)	第12回 和歌山オープンレディースバドミントン大会(団体戦)	和歌山県	和歌山県立体育館
3月11日(水)・12日(木)	第30回 千葉・菜の花オープン大会(個人戦)	千葉県	船橋アリーナ
3月15日(日)	2025 徳島県レディース阿波踊りオープンバドミントン大会(団体戦)	徳島県	アミノバリューホール(鳴門市)
	第20回 マザーレイクフェスティバルバドミントン大会(団体戦)	滋賀県	今年度開催休止



北海道ブロック 理事長

北海道 日景 真弓

北海道ブロックでは、長年にわたり諸先輩が築き上げ、多くの会員の皆様に支えられて昨年、連盟創立40周年を迎えました。毎年8月に開催しております「北海道レディースバドミントン競技大会」を記念大会とし道内各地よりたくさんのご参加をいただき歴史ある大会を盛会に終えることが出来ました。

6月開催の「北海道よさこいソーランオープン大会」では、道内はもとより道外からもたくさんのご参加をいただき、白熱したプレーで汗を流した後は多くの方々との交流を深めたオープン大会となりました。今年もたくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

当連盟では2019年度より、交流会を実施して新規会員の獲得に取り組んでおります。

2023年度からは、交流会開催に併せてレディース全国大会出場を目指す方を対象とした強化練習会も実施して参りました。そのかいもあり、全日本レディース個人戦の参加者も増え、今後の北海道レディースの競技力向上につながっていくことを期待しているところです。

北海道ブロックとして、今後も新規会員の獲得、全国大会出場者数の増加、参加しやすい大会作り等を試行錯誤しながら活動していきたいと思っております。

東北ブロック 評議員

秋田県 石井 るり子

第三十一回東北地区レディースバドミントン大会が、秋晴れのもと、秋田県秋田市において開催されました。八年振りと言うことで、不安も有り青森県からのアドバイスをうけ準備を進めましたが、東北ブロック役員のご協力と大会スタッフの頑張りでもり切りました。

当日は、日本レディース連盟のご協力をいただき、大会運営をとてスムーズに行う事ができました。

この大会は、全日本には、なかなか参加できない選手たちが、唯一、東北の仲間たちと交流できる大会です。特に、地元で、試合を存分に戦える、力を発揮できる大会でもあります。また、これを機会に全国大会にも繋げて行ければと思っています。

令和七年度山形県で開催されます第三十二回東北大会に向け、東北六県が一致団結して、次に繋がる活動に取組みたいと思います。楽しく、大好きなバドミントンができることに感謝して東北六県一同協力しながら進めて行きたいと思っております。

関東ブロック 評議員

栃木県 福田 芳子

関東ブロックでは年に3回の役員会（さいたま市）と1都7県より各予選会を勝ち抜いた24チームが参加してのクラブ対抗の団体戦を持ち回りで開催しています。今年度は栃木県で第13回春季大会（未経験者）と第18回秋季大会（経験者含）の2大会を鹿沼市のTKCいちごアリーナで開催しました。

栃木では、令和9年度に全日本選手権大会の開催を予定していますが今回の関東大会は同じ団体戦とあつて県内役員や会員が勉強させてもらえるいい機会と思いのぞみ

ました。仕事をもった会員が多く競技役員の確保のため春季・秋季共に土曜日の開催となりましたが、選手の家族や応援の方々も多く来場されとても賑やかに開催ができました。春季では次こそは全日本を目指してと闘志と活気にあふれ、秋季では久々に各都県が3チーム参加となり応援に盛り上がり年々若い世代の出場が増えてハイレベルな見ごたえのある戦いとなりました。関東役員や大会スタッフの協力のもと無事に終了する事ができ感謝しております。

北信越ブロック 評議員

石川県 宮田 幸恵

令和6年1月の能登半島地震では、皆様から温かいご声援や義援金をいただき本当にありがとうございました。

5月に石川県で開催された第40回北信越レディースクラブ対抗バドミントン大会では、会場の変更や試合時間の短縮等、色々思い通りにならない点はありましたが、北信越ブロックの皆様方のご理解ご協力のもと、無事終了する事ができました。選手の楽しそうな、はつらつとしたプレーを見ることができたのも、たくさんの方の選手が、たくさんの方の元気をくださったお陰と、心より感謝いたします。

大会は県代表、1部、2部、3部、4部、シニアの部に分け、若年層からシニア層まで、ランクにより出場しやすいよう、理事長会で工夫・検討を重ね、各県の課題を共有しながら楽しめる大会を目指しています。又、石川県レディースバドミントン連盟は、今年50周年を迎え、ますますのレベルアップ・生涯スポーツの普及にと盛り上げて行きたいと思っております。

東海ブロック 評議員

岐阜県 多田 智美

令和5年度より岐阜県の理事長に就任し、評議員として総会に出席させていただくようになりました。初めての体験ばかりでしたが、関係の皆様方からのご指導を仰ぐことで無事大過なく2年間を過ごすことができました、大変感謝しております。

令和6年度は、東海大会（団体戦・個人戦）を岐阜県に於いて開催し、総会（5月）並びに理事長会議（11月）を愛知県に会場をお借りして開催いたしました。

また、12月には三重県にて第19回全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）が四日市市・津市の二会場で開催され、個人戦史上2番目となる多数の参加選手による熱戦が繰り広げられました。大会が盛会裏に無事終了できたことは同一ブロック県として大変誇らしく、齋藤ゆか前理事長の多大なご尽力に心から敬意を表します。

今年度、愛知県では柿澤和美理事長が退任され加藤菜央子氏に、三重県では前田仁美氏に理事長職が引き継がれました。新たな仲間を迎え、更なるブロック活動の活性化が図れるよう、総会・理事長会議に於いて活発な意見交換を行い、各県の課題を共有しながら今後に繋げていけるよう努力したいと思っております。

近畿ブロック 常任理事

和歌山県 早 香代

私たち近畿ブロックでは、総会と年4回の理事会を開き、日本レディース連盟の報告はもとより、活発な意見交換や情報共有をしています。

また年3回の近畿大会、（近畿レディースバドミントン競技大会、近畿レディースバドミントン選手権大会、近畿シニアレディースバドミントン親睦大会）を開催し

ています。

近畿ブロックでは、日本レディースの3つの大きな大会のひとつである国際親善が毎年大阪で開催されており、また近畿各府県ではオープン大会が盛んに開催され、近畿圏以外からも参加していただき、交流を深めています。

令和7年度第43回全日本レディースバドミントン選手権大会は近畿ブロックの中和歌山での開催が決定しています。和歌山県レディース連盟として初の全国大会の開催になります。

2020年に予定しておりました第15回全日本レディース競技大会がコロナウィルス感染拡大のために中止となり、とても残念な気持ちになっていました。

その無念をはらすべく、今、全力で開催の準備に取り組んでいます。

登録人数の少ない和歌山で、どこまでできるのか？自分たちの出来る事を精一杯やる！を合言葉に頑張りますので、水と緑と歴史のまち和歌山に是非お越しください！

この全日本大会の開催をきっかけに、更なる近畿ブロックの発展に繋げていければと思っています。

中国ブロック 評議員

岡山県 高橋 綾子

令和6年度、中国ブロックでは、5月18日19日に島根県出雲市にて中国地区レディースバドミントン選手権大会（年齢別対抗・クラブ対抗）を開催いたしました。各県の代表が集まり、年齢別の部（個人戦）では1部から8部、クラブ対抗の部（団体戦）が行われ、熱戦が繰り広げられました。しかし若い年代の参加者確保が毎年の課題となっております。初日に総会を行い、大会参加者の減少対策や会員確保などを話し合いました。若い選手が出場しやすく、ベテラン選手も楽しめる大会が実現できるよう、見直しや検討を図っているところです。

10月には中国地区親睦大会と理事長会を広島県三原市で開催いたしました。各県40代から70代以上の3名チーム編成の県対抗戦、午後より県を超えてチームを作り交流戦を行いました。参加した方から、他県同士で組む機会がほとんどない為、すごく楽しかったし、勉強になったとの声を聞くことができました。

令和7年9月に岡山県岡山市で第4回日レ塾全日本フレンドリーバドミントン大会、12月に山口県山口市・防府市に於いて第20回全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）が開催されます。試合の前？後？に観光するのがレディースならではの楽しみではないでしょうか。中国地区にも見るどころ食べるところがいろいろありますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。これからも大会に向けて中国ブロックで協力し、また選手のレベルアップや親睦、および会員普及に繋がる活動に取り組んでいきたいと思っています。

四国ブロック 理事

徳島県 西岡 都

四国ブロックは、四国と言われます通り4県の一番少ないブロックです。そんな中でも、年に一度、持ち回りで四国大会を開催しております。6年度は愛媛県新居浜市で33チームの団体戦を行いました。新居浜市は、四国では丁度中心にあり、おへその部分の市になります。県をまたいでも、様々なオープン大会等で会える機会も多々あり、顔見知りの選手も多い状況で、試合はもちろん、お喋りや雑談も楽しみな大会です。7年度は4月に香川県で四国大会が開催されます。帰りに、美味しい讃岐うどんでも味わいながら反省会ができればいいなと思います。

そんな四国徳島で、令和8年度、都道府県対抗・クラブ対抗が開催されることが決まっております。正直、今から緊張しております。

ます。今年度の和歌山大会から勉強させていただきます。四国3県のお力もお借りしつつ、精一杯務めさせて頂ければと思っています。愛媛には道後温泉や美味しいミカン、高知には坂本龍馬の桂浜や鰹のたたき、香川には美しい島々や讃岐うどん、徳島は鳴門の渦潮やスタチ等々、素敵な所や美味しい物も数々あります。毎年、各県もそれぞれオープン大会を開催しておりますので、ぜひお越しください。

理事になって、他県の理事長さんとお話する機会が増え、声をかけて頂ける事も増え、とても有難いと感じています。地震やコロナ・インフルエンザの流行、様々な不安材料も頻繁にあり、心穏やかでは無い時もありますが、バドミントンに出会え、バドミントンを通じて出来た仲間との楽しい時間を大切にしたいと思います。

九州ブロック 評議員

宮崎県 細山田 明美

九州ブロックでは、令和6年度全九州レディースバドミントン選手権大会を十月六日都市早水公園体育文化センターにて開催しました。

この大会は、フリーから七十歳の年代別八ブロック三ダブルスによる県対抗団体戦で、毎大会各年代とも熱戦が繰り広げられます。今大会は佐賀県で開催された国民スポーツ大会と日程が重なった為、佐賀県の皆さんの参加ができませんでした。日程・会場の変更など検討しましたが、調整できず七県での開催となった事がとても残念でした。

来年度は九州全八県参加で他県同志の親睦を深め大会を盛り上げていけたらと思います。

七年度から各県の理事長が八県のうち半分の四県交代しますが、今まで同様連携を図って九州ブロックの活動普及に努めていきたいと思っています。

編集後記

1年間の活動報告として連盟だよりにまとめました。データ編集・写真選別・原稿校正など、作成に当たり協力頂きました皆様ありがとうございました。多くの方に連盟だよりVOI・24をご覧頂ければ幸いです。（総務部）綾野 志穂



会議風景

